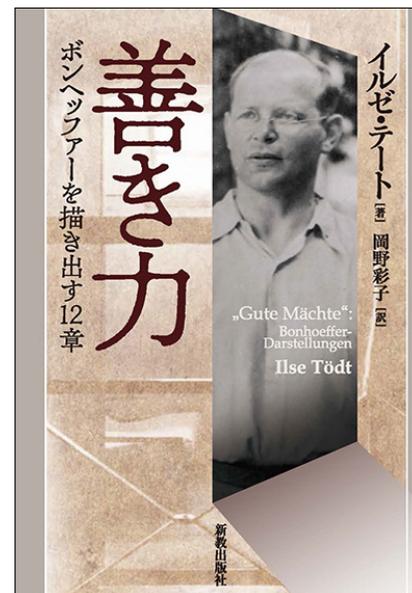


善き力

ボンヘッファーを描き出す 12章

四六判・上製・326頁・本体3600円（税込定価3960円）
ISBN 978-4-400-31103-4 C1016

イルゼ・テート 著
岡野彩子 訳



彼は何者だったのか？

著者は、夫H・E・テートと共に新版ボンヘッファー全集（DBW）の編集に絶大な貢献を果たし、ボンヘッファーのテキストに誰よりも通暁する碩学である。本書は、著者が2000年代初頭に、主として一般市民を対象に語った講演を収録する。様々なテーマを切り口に、ボンヘッファーの神学思想と信仰世界の豊かさが生き生きと描き出される。

著者 イルゼ・テート (Ilse Tödt) 1930年生まれ。ハノーファー工科大学、ゲッティンゲン大学、ハンブルク大学、フランクフルト大学、米国オハイオ州立大学で学ぶ。1957年「イロコイ人とデラウェア人における18世紀ヘルンフォートによる宣教の影響」の研究によりゲッティンゲン大学から博士号取得。夫ハインツ・エドゥアルト・テートと共にハイデルベルクの福音主義学術共同研究所（FEST）で研究に従事。1980年代に開始された新版「ディートリヒ・ボンヘッファー全集」（DBW）の編集委員として中心的な役割を担い、夫の没後、そのあとを継いで総編集者に就いた。

訳者 岡野彩子（おかの・あやこ）大阪大学大学院言語社会研究科言語社会専攻博士後期課程修了。ミュンヘン大学、ベルリン・フンボルト大学プロテスタント神学部留学。現在関西大学、京都産業大学非常勤講師。著書に、博士論文『ボンヘッファーの人間学』（大阪大学COデザインセンター）ほか。訳書に『プレヒト詩とソング』『プレヒト音楽と舞台』（共訳、花伝社）ほか多数。

【目次より】

- 第1章 「善き力に不思議に守られて……」——ディートリヒ・ボンヘッファー——神学者・抵抗運動の闘士
- 第2章 ディートリヒ・ボンヘッファーの生涯と神学における一つの要点
- 第3章 ボンヘッファーの冒険——平和という神の戒めを知るために
- 第4章 ボンヘッファーの生涯における聖書
- 第5章 ボンヘッファーの『服従
- 第7章 世界におけるキリスト者の責任——私たちはボンヘッファーから何を新たに学べるのか
- 第8章 ボンヘッファーと極端なもの
- 第9章 逆説的な従順——ディートリヒ・ボンヘッファーの神学倫理一九三三〜一九四三
- 第10章 必要な高貴さ——ディートリヒ・ボンヘッファーが思い描くドイツの未来
- 第11章 「聖なること」は難しい？
- 第12章 死と復活

付録A ディートリヒ・ボンヘッファー（一九〇六〜一九四五）年譜／付録B ディートリヒ・ボンヘッファーの著作／付録C 引用文献／付録D テキストの成り立ち／付録E 著者紹介